

## 班 紹 介

### 2 班の紹介

第2班班長  
**田 村 明 美**  
(あけ美肌クリニック)

旭川市医師会の会員の先生方、はじめまして。2班の班長をしております、あけ美肌クリニックの田村明美です。班の中では一番の若輩者ですので、宴会係を仰せつかっております。

2班は北彩都病院と駅前エリアの開業医で構成されております。班会議は、毎回10人程の参加で、出席率も高いと思われ、幹事としてはとても楽をさせて頂いています。宴会の雰囲気も和やかで、和気あいあいです。私自身は、7年程日赤に勤務しておりましたので、このように地区の先生方と個人的に交流する機会は、正直なかったです。班会議のような会合は、お互いに顔が見え、得意分野も分かるので、患者様をお願いする際にも、大変役立ちます。何よりも楽しいです。開業して4年経ちますが、いまだに周りの先生に助けられながら、仕事をしていますので、私自身も地域のお役に立てるように、精進したいと思います。

## 部会報告

### 「旭川市医師会研修会 『知っておきたい眼科学』」報告

旭川市医師会女性医師部会部会長  
**長谷部 千登美**  
(旭川赤十字病院)

女性医師部会では毎年、市民講演会・旭川医科大学の学生さんたちとの懇談会・そして我々自身の勉強という意味での研修会を、活動の3本柱として開催してきました。2012年度の最後の行事としての研修会は、2013年3月7日に、旭川赤十字病院の講堂で開催されました。

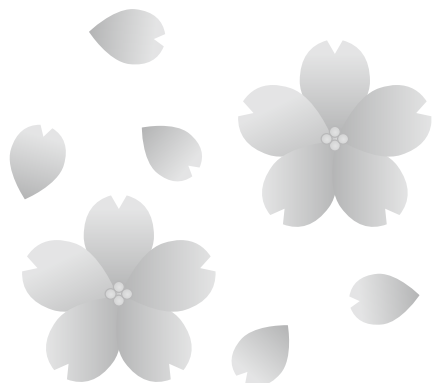
今回の研修会での、昨年度までとの大きな違いは、旭川女性薬剤師会の先生達にも参加していただくようにしたことです。研修会のテーマに関しても、女性薬剤師会の会長先生とお会いして、多くの方が興味をもってくださりそうな内容ということでご相談し、眼科に関することに決めました。そして旭川医科大学学長の吉田晃敏先生のご推薦をいただいた、医工連携総研講座の花田一臣先生に講師をお願いし、快くお引き受けいただきました。

眼科をテーマに選んだ理由として、我々の日常診療のなかで患者さんにいろいろと相談を受けることが多いわりに専門的知識が乏しいので、患者さんに適切なアドバイスが出来るようにしたいこと、そして各自が自分自身の問題として加齢とともに起こりうるさまざまな眼科的病態に関して理解を深めておきたいことの2点がありました。そこで、眼科的内容でお話を伺いたい多岐にわたるテーマを花田先生にお伝えし、準備をしていただきました。

ご講演は、「知っておきたい眼科学」とのタイトルで、①視覚のしくみ、②めのなやみ、③めをまもる、の3部構成でした。

視覚のしくみのお話の中では、眼球の解剖・屈折異常に関する説明、そして屈折異常に対するレーシックなどの治療の実際をご説明いただきました。また、年齢による調節力の衰えである、いわゆる老眼に関しても、大変わかりやすく教えていただきました。

いろいろなめのなやみとしては、飛蚊症・網膜剥離とそれを疑わせる症状・そしてドライアイの診断と治療に関して、詳しく説明をいただきました。さらに、白内障の経過と手術に関しての詳細も教えていただくことができました。これらの眼科的疾患は、内科の日常診療でもしばしば患者さんからご相談を受けることがあり、きちんとした基礎知識を持って対応することが重要と思われ知らされました。



ここまでのお話は、自覚症状があつて患者さんが進んで眼科医にご相談できるものが主体でした。ところが、失明に至る病気の初期には自覚症状のないものが多いということから、その後「めをまもる」というテーマで注意すべき目の疾患に関してのご説明をいただきました。中途失明の原因として最も多い緑内障、そのなかでも「消えて無くなってしまう」という実際の視野欠損の提示は驚愕ものでした。それから糖尿病性網膜症に関してのご説明では、つい内科的な診察で終わりとしてしまいがちな診療を深く反省させられました。それから、黄斑部の病気としての加齢黄斑変性とその危険因子などのお話、そして高血圧と眼の関係として網膜動脈閉塞症や網膜静脈閉塞症に関するご説明をいただきました。

最後には、大切な眼をまもるためとして、「病気に対する正しい知識を」、「検診を活用・二次検査を適切に」、「眼科専門医に相談を」ということを強調してご講演を終わりました。このような、広い範囲にわたるたくさんのお話を、眼科の分野に関してはほとんど素人という状態の我々に対して、懇切丁寧にわかりやすく教えていただきました。参加者の多くが、「眼の病気が少しはわかった！」という感慨を得ることができたのではないかと思います。



講演会の終了後には、赤十字病院の近くにあるお店で、花田先生を囲んだ懇親会を行いました。過去の研修会では、ホテルで開催してそのまま立食での懇親会にしていたのですが、今回は会場を変えて懇親会も会費徴収の上で居酒屋での開催となりました。どのくらいの方が参加して下さるか、不安もあったのですが、いざ行ってみると全部で19名という多くの方が懇親会まで参加して下さり、おおいに盛り上がりました。懇親会の間にも、めぐすりの選び方・使い方など日常診療に役立つ情報を、花田先生から丁寧に教えていただきました。また、これを機会に、何か眼科で困ったことがあればご相談にのっていただけるという心強いお約束をいただき、大成功のうちに会を閉じることになりました。

今年度、女性薬剤師会との共催という新しい試みにチャレンジしましたが、講演会自体も参加者が増えて盛り上がり、普段なかなか接点がとれない薬剤師の先生たちとの親睦をはかることもでき、大変よかったというご意見をいただきました。今後考えていく企画でも、他職種の先生方との交流を積極的にはかりながら、有意義な研修会にしていくよう工夫を重ねたいと思います。また、女性医師部会が主催の研修会とはいっても、男性医師の出席も大歓迎ですので、今後はこれまで以上に男性医師も含めた多くの方の出席を期待しております。

